



ホッピーだより



No.484

2025年3月1日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook (@HobetsuMuseum)

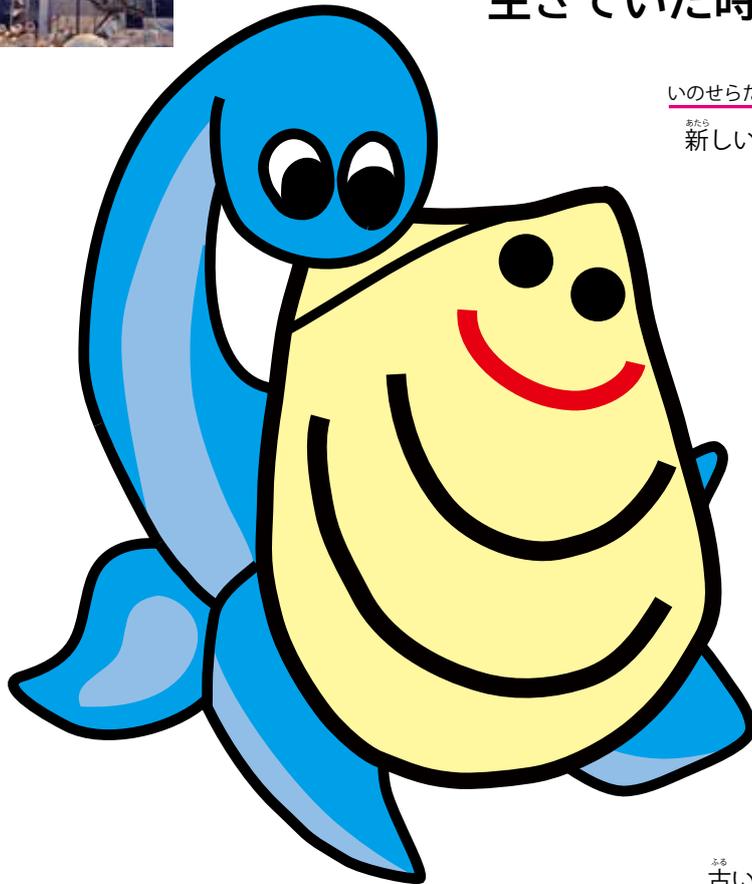
研究報告第 40 号 (3 月 1 日発行) (<http://www.town.mukawa.lg.jp/3389.htm>) の内容紹介



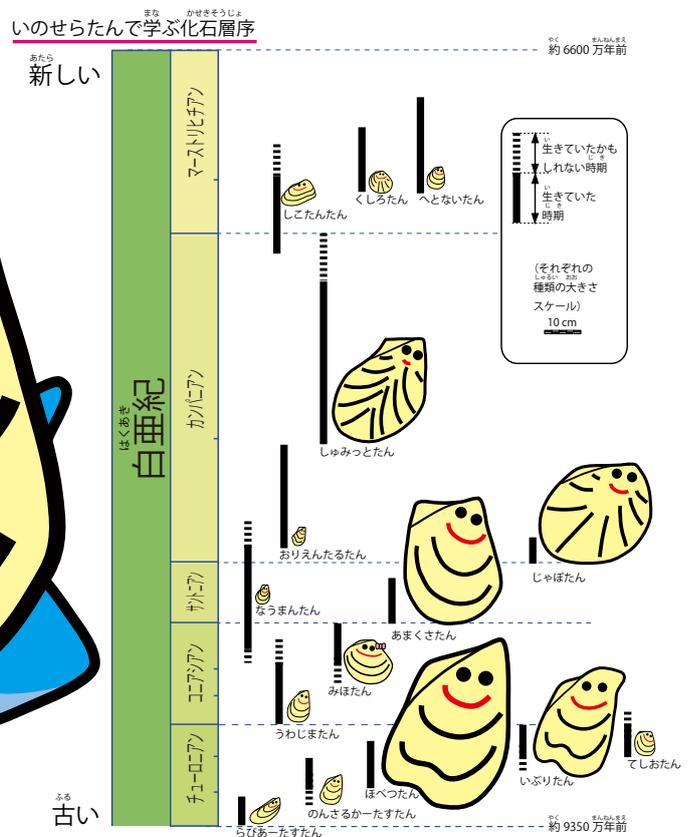
ホッピーとあまくさたんはズツ友

8,400 万年間

- 首長竜ホベツアラキリュウ (ホッピー) が生きていた時代の再研究 -



ホッピーとあまくさたん



穂別博物館設立の契機となった首長竜ホベツアラキリュウ (ホッピー) は 1977 年に発掘されました。その発掘で採集された化石などをもとに、この首長竜が生きていた時代は後期白亜紀のカノニア期前期 (約 8,000 万年前) とされています (1986 年の研究)。

ただし、1986 年の研究で用いられた化石のうち、アンモナイトやイノセラムス科二枚貝の研究については不十分だったことなどから、再研究を行いました。

再研究の結果、首長竜が産した地層はイノセ

ラムス科二枚貝および「いのせらたん」で言うと、イノセラムス・アマクセンシス (*Inoceramus amakusensis*)、「あまくさたん」が出る時代 (= サントニアン期、約 8,400 万年前) のものだということが初めて分かりました。1986 年の研究結果を近年の地質時代決定の枠組みで見直してみると、この結果と整合的になってきています。

ズツ友：ずっと友達の略語



発表した学術論文 (32MB)

http://www.town.mukawa.lg.jp/secure/5408/Nishimura_2025.pdf

-1977年に発掘された化石も再研究に使用-



クビナガリュウ
1977年7月の首長竜発掘



さいしゅう
発掘で採集されたアンモナイト



発掘された首長竜化石（クリーニング前）



首長竜発掘で採集されたアンモナイト（現在の展示）

1977年7月に発掘されたアンモナイトやイノセラムス科二枚貝も今回の研究で使用しました。発掘は30年以上も前のこととなりますが、再研究ではじめて使われた化石もあるので、暑い

中に行った発掘の価値がさらに向上したといえます。また、博物館の役割の一つである、資料を適切に保存してきたことが、今回の再研究につながりました。

学芸員 西村智弘



NHK 札幌放送局でカムイサウルス展示

NHK 札幌放送局と北海道大学総合博物館で製作した完全版カムイサウルス全身復元骨格（レプリカ。2割の欠損部分も復元した骨格）が3月22日（土）からNHK 札幌放送局で展示されます。また、4月6日（日）までの期間限定で、穂別博物館収蔵のカムイサウルス実物化石の一部も展示されます。

NHK 札幌放送局 HP <https://www.nhk.or.jp/hokkaido/>

御船町恐竜博物館でカムイサウルス展示

御船町恐竜博物館の春季特別展 よみがえる日本の恐竜たち（3月8日～5月11日、<https://mifunemuseum.jp/exhibits-top/special-exhibition/japanesedinosauers/>）でカムイサウルス全身復元骨格（貸し出し用）と共産化石が展示されます。



穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30～17:00
(最終入館 16:30)

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300円	100円
団体 (10名様以上)	200円	50円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2025年3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2025年4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

休館日